

浜松観光ボランティアガイドの会

## 「新人養成講座・現地研修」(家康の散歩道後半)

5月15日(月)雨上がりの中、25期17名、研修部6名、副会長1名の計24名で3グループに別れて家康の散歩道後半「合戦ルート」が研修部主催で実施されました。

市役所前から出発し、馬冷しを經由して広沢の普濟寺へ。ここは「三方ヶ原の戦い」にて、敗走した徳川家康公によって「浜松城が燃えている」と思わせるために焼かれました。その後も二度、焼失しましたが、戦後に再建され、今も街中に残る趣があるお寺です。

次に西来院の築山御前廟「月窟廟」を参拝しました。朝方まで降り続いた雨の露にぬれたお堂が輝いて見え、参加者からも「歓迎されているようだ」という声が聞こ



築山御前廟「月窟廟」入口

成功させた記念碑を通り過ぎ、夏目次郎左衛門吉信の碑に向かいました。ここでUターンし、奥山線線路跡(遊歩道)を歩いて浜松城へ戻りました。途中、多くの学生とすれ違い、そこで参加者の学生時代の話で盛り上がりました。

南ブロックの中村豊さんは「高校の前を電車が通っていてよく眺めていた。石炭でたかかれていたから、たくさん人が乗ると(馬力が足りず)止まることもあり、みんなで降りて押すこともあった」と懐かしそうに話してくれました。

解散後、今年度の新人研修最後の取材に際して、研修部の桶田忠正さんからは「1月の新人研修から始まり、最終の現地研修までだけでなく、つつがなく終わりましたので、後はこれを台本にして研修で回ったコースを個々で歩いて、今後役に立てていただきたい」と25期生への期待を寄せていました。

暑い中皆様お疲れ様でした。



雨上がりの静かな普濟寺

えました。他に松平康俊墓碑、水野家家老二墓、林家墓など、著名な方々のお墓があります。ドラマの影響で訪れる人も多いのか、お供えの花も多く見られました。

その後、「三方ヶ原の戦い」で討死した成瀬正義らが眠る宗源院へ。寺の東南一帯にはかつて的場があり、徳川家康が在城した当時は、ここで弓の稽古に励んだといわれています。

南ブロックの堀出敏夫さんは「浜松の身近なお寺にこんなに歴史に名を残す方が葬られていたなんて」と驚きながらも楽しそうでした。

日が高くなり暑くなってきたころ、西部協働センターで休憩を取り、高柳健次郎氏が「イ」の字の電子表示を



夏目次郎左衛門吉信の碑

夏目次郎左衛門吉信の碑

## 「どうする家康」で一層の盛り上がり・・・浜松まつり協力

新型コロナの行動制限が緩和された初めてのゴールデンウィーク。4年ぶりの風揚げに多くの浜松市民と観光客が来場しました。市観光・シティプロモーション課によりますと、浜松まつりの人出は255万5000人で、記録の残る2004年以降、過去最多となったとのこと。まつり最終日5日には、大河ドラマ「どうする家康」に出演の松本潤さんらが登場した騎馬武者行列に68万人もの人々が集まりました。

私たち観光ボランティアも風揚げ会場で「大風の前の記念撮影」「風揚げ体験」「まつり会館案内」の3つのイベントで観光客のおもてなしをしました。

### 【5月3日】

まつりでのボランティアも4年ぶり初日ということで、準備を慎重に行いました。浜松風の会の皆様と連携して行う風揚げ体験は、安定して集客できるようになるのに少し時間がかかりました。記念写真撮影コーナーには準備中から早くも希望者が並び、考える暇なく体験開始となりました。ほとんどの方が法被の貸し出しを希望され、思い思いのポーズをとって写真に納まっていました。外国の方からは「法被は買えますか」という問い合わせもありました。どちらの体験も午前11時頃から忙しさのピークを迎え、体験終了の午後2時後30分まで順番待ちの行列は途切れることがありませんでした。



お気に入りの風の前で記念撮影

### 【5月4日】

この日も青空に大風が映えました。午前9時、事務局の指示で記念写真班、風揚げ体験班、まつり会館案内係に分かれて活動をスタートしました。

大河ドラマの舞台がいよいよ浜松に移ってきた時期と重なり、お客さんたちとの話も弾みました。撮影の背景に杵と銭をデザインした小豆餅の大風も用意してくださったので、三方ヶ原の負け戦の折の「小豆餅」と「銭取」の逸話を紹介すると面白がってくださる方がほとんど。中には「小豆餅」「犀ヶ崖」「布橋」の話も全部ご存じの方もみえ感心しました。

風揚げ体験を終えた子供たちからは、風に乗った風糸の引きの強さを体感し、「楽しかった」「思ったより重かった」「手が痛かった」など興奮と満足の声が聞かれました。

記念写真や風揚げ体験が有料だと思っているお客さんもいましたので、受付前で無料のサービスであるとアナウンスすることが大切だと感じました。

### 【5月5日】

最終日は集合後すぐに体験をスタートしましたが、午後に行われる浜松駅前での松本潤さんも出演する騎馬武者行列の影響なのか来場者は全体的に少ないように感じました。

風揚げ体験の方は、こどもの日ということで、子供に人気の「ドラえもん」と、五月人形によく登場する「神功皇后(じんぐうこうごう)」のデザインの風が揚げられました。この日も風はあまり吹かず難しいコンディションでしたが、浜松風の会の皆様が巧みに風揚げ体験を実施してくれました。



見るだけより参加した方が・・・

風が弱く日差しの強い3日間でしたので、まつり会館内でのガイドの方が体は楽でしたが、その代わりしっかり日焼けしました。

屋外のイベントには連日3,000人を超える(延べ9,865人)観光客の参加をいただき、やりがいのある3日間のボランティア活動となりました。

広報部 都築厚好(北ブロック)、馬淵豊(南ブロック)

## 新入会員の入会動機



沖縄をはじめ、ホテル業に長くかかわり、お客様への観光地の案内をしていましたが、自分が知らないと観光地の案内は出来ないと、赴任地では自ら観光客として調べる事を心掛けていました。

縁があって、浜松在のホテルに赴任時、ありきたりの紙媒体の観光地紹介しかなく、自ら調べて10年前から、ブログで浜名湖周辺のイベント・観光紹介をしています。

現在は、フリーの添乗員・旅行ガイドをしています。数年前、観光コースの下見で、犀ヶ崖資料館で女性のガイドの方から、詳しく説明していただき大変感銘を受けました。浜松観光ボランティアガイドの会には、以前から興味があり今回ようやく講習会のスケジュールが合い参加させていただきました。自分の経験が何かのお役に立てばと思います。若輩者ですが宜しく願ひ致します。

中ブロック 鈴木康生



こんにちは、私は今年度よりこの浜松案内人の会にお世話になります。“古橋照久”と申します。よろしく願いいたします。浜松の地は南に遠州灘、東に天竜、西に浜名湖、北に南アルプスを望む温暖で豊かな自然環境に恵まれています。郷土の歴史、文化も併せて、この地を訪れる方々にお伝えし、この浜松に、住みたい、ここで生活してみたいというような気持ちになってもらえる事ができればと思います。持続可能な地域社会の担い手となるべく、講座を受け浜松案内人の会に入会させていただきました。

中ブロック 古橋照久



旅行が趣味の私は、このコロナ禍の三年間を悔しい思いで過ごしてきました。飛行機に乗りたい、船に乗りたいという思いが、日増しに膨らみ、日本でも多くの人が集まらないだろう島をターゲットに選びました。玄関まで迎えに来てくれるリムジンタクシーで静岡空港まで行き（片道料金二千円）、利尻、礼文島、壱岐、対馬と歩いてきました。

さて、今年はどこへと思っているときに、「新人ガイド養成講座募集」を新聞で知りました。講座場所が毎週「健脚教室」に通っているなじみの可美公園センターでしたので、すぐに応募しました。“浜松生まれで旅育ち”なんて人のまねして言っておりますが、原点は浜松です。今年目標が決まりました。“浜松を旅する”ことです。大きくもなく、小さくもない、このグローカリーの浜松が大好きです。

歴史の系図は苦手です。誰の誰の誰は誰か…は、ちっとも覚えられません。自分が旅するように浜松をガイドできるようになればいいな、と思っています。特に食べることは大好きですので、この方面でガイドできれば、と思っていますが、これは不遜な考えでしょうか。

川柳、数独をすること、美術館、水族館巡りが趣味です。走りだすと止まらない猪突猛進型かな、と思っています。

南ブロック 堀川和子

## 家康公と瀨名姫 犀ヶ崖古戦場に来場

家康公と瀨名姫が古戦場に来場。令和5年4月29日（土）晴れ、午前11時50分NHK大河ドラマ「どうする家康」の家康公役の松本潤さん、瀨名姫役の有村架純さんが、三方ヶ原の戦いの記念碑建立の為、犀ヶ崖古戦場の敷地内に設けられたテントの中で鍬入れを行い、本多忠真の記念碑に献花。約1時間後に鈴木前市長、「家康プロジェクト推進協議会」齊藤会長と共に去られました。

後には二人の残された華やかな雰囲気が漂い、たまたま遠方より、また近くからこられた方も興奮気味で当日当番の中ブロックの柳本幸子さん、長谷川幸夫さんとの会話も弾んだようにも見受けられました。

二人の来場前に、市の担当責任者より、今からの入場者には「撮影禁止、姿は目に焼き付ける様に」の指令に一同沈黙、降車してきた人物を見ていた反対側の女性の黄色い声と共に現れたのは、口元の凛々しい松潤(まつじゅん)、そして華やかな架純嬢、目前を通り抜けていった松潤を見て感激のあまり目に涙する女性に驚いている人々、と大変記憶に残る一日でした。

これから、いよいよ浜松そして三方ヶ原合戦と舞台は変遷していくのでしょうか。尚、記念碑は7月に敷地内の適所に建立される予定です。

犀ヶ崖資料館部長 織田昌明（中ブロック）

## 会員の交流広場

## 岡崎ビスタライン探訪



大樹寺から望むビスタライン ことです。実際に目の前の小学校にあった体育館の渡り廊下は、地下に作り直されたそうです。

・ ・ ・びっくりぽん！

大樹寺見学の後、徳川四天王のひとり酒井忠次の生誕地「井田城」。そしてなぜ岡崎に伊賀？と不思議に思っていた伊賀八幡宮を訪れました。4代親忠が松平氏の氏神として1470年に社を伊賀国よりこの地に移したことが始まりだそうです。 ・ ・ ・なぜ岡崎に伊賀があるのか納得です！豪華絢爛な歴史絵巻家康行列の出発地になっており、7月には蓮の花が綺麗だそうです。



伊賀八幡宮

お昼は、『鶴瓶の家族に乾杯』1月放送で家康に関係があるお寺として紹介された松應寺境内にある“松應寺横丁”で、お肉たっぷり焼うどん 至430を頂きました。 ・ ・ ・安い 旨い 😊



松應寺廟所門

このあと松應寺に参拝。 ・ ・ ・これが凄いいところでした！

「この寺は家康公が創建した寺院でその役目は、ひたすら家康公父君の松平広忠公供養のために創った御廟所を守ることだそうです。御廟所は、令和の大修復を経て当時の美しい荘厳な土塀の姿を取り戻していました(国内有数の格式と規模だそうです)。

最後にビスタラインの最終地点である岡崎城とドラマ館を堪能し、本多平八郎忠勝像の前で友人と記念撮影をして、今回の岡崎ビスタライン探訪を終えました。

東ブロック 伊藤英典

## 5月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### ＜犀ヶ崖資料館＞

20日	土	掛川遊歩会	30名
		ツーリズムビューロー	5名
		時習館高校	10名
23日	火	追分小学校	42名
28日	日	ガールスカウト静岡第24団	11名
30日	火	はるかぜツアー	16名

### ＜浜松城＞

団体ガイド活動はありません

### ＜浜松まつり会館＞

3日	水	浜松まつり協力	1,230名
4日	木	浜松まつり協力	1,118名
5日	金	浜松まつり協力	938名

## はままつ案内人会報 251号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
 〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)  
 TEL 053-456-1303  
 メールアドレス mail@hama-svg.jp  
 ホームページ http://www.hama-svg.jp/



家康公ゆかりの地

はままつ案内人

検索